

500円の図書券が当たる

広報クイズ⑤

7月号のクイズの正解は①-B、②-A、③-C
でした。応募総数は25通で、全問正解は23通でした。

【今月の問題】

①前助役、小林啓一郎さんの公務員生活は何年？
(ヒント=6ページ)

Ⓐ65年 Ⓑ55年 Ⓒ45年

②こんびら様に祭られた水運の神様は？
(ヒント=17ページ)

Ⓐ大物主命 Ⓑ大国主命 Ⓒ天照大神

③田中吉夫さんが厳しい税関チェックで取り上げられたものは？(ヒント=13ページ)

Ⓐスプレー式殺虫剤 Ⓑピストル Ⓒ携帯用テープレコーダー

【応募方法】

◆はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢を書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼント。クイズの答えのほかに意見、イラスト、情報など歓迎。

◆あて先=〒950-12 白根市大字白根1235
白根市役所 広報クイズ係

◆締め切り=8月19日(土) 必着

◆抽選=8月21日(月)に市民生活課の窓口に来られた人をお願いします。

◆発表=9月1日号

当選おめでとう!

7月の
広報クイズ

▶吉沢美鈴さん(四ツ興野・16歳)

▶波川伸一さん(上大郷・12歳)

▶長橋亜弥さん(白井・9歳)

▶斉藤ユミさん(大字七軒・38歳)

▶田中三枝子さん(高井興野・32歳)

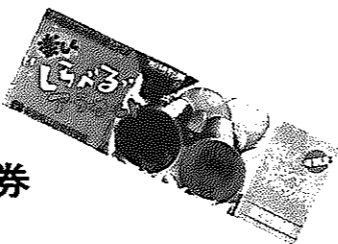
7月21日(金)に市民生活課に来られた生野 幸さんから抽選いただきました。

はがきで キャッチボール

夏休み

特別 プレゼント

県立自然科学館 '89特別展入場券



毎月たくさんのお応募、ありがとうございます。これまでにイラストクラブへは七十一通、広報クイズへは九十通もの応募がありました。

今月は県立自然科学館のご好意により、残念ながら選に漏れた人の中から、夏休み特別プレゼントとして、同科学館の'89特別展「楽しくしらべる」ア・ラ・カルト」の入場券をペアで十三組に差し上げます。

これからの、突然こういうプレゼントがあるかもしれませんので、どしどし応募してください。お待ちしております。

当選おめでとう

- 鈴木寛さん(東笠巻新田・30歳)
- 白井響久美さん(上八枚・15歳)
- 五十嵐大輔さん(北田中・11歳)
- 青木きよ子さん(大通二丁目)
- 関口裕子さん(みの口)
- 笹川美幸さん(桜町5・10歳)
- 西方智美さん(十五間・12歳)
- 小林麻衣子さん(砂押・7歳)
- 富田衛さん(日の出町・15歳)
- 西村礼子さん(鍋湯・38歳)
- 小野直子さん(大通一・18歳)
- 渡辺美幸さん(和泉・13歳)
- 小林秀明さん(上下諏訪木・9歳)

市民談話室

原稿募集

9月1日号の原稿を募集します。皆さんが日ごろ考えていることや身近な出来事など、気軽に投稿してください。字数は400字から500字程度とします。あて先は、〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 (☎373-2111) 333) です。



泉 健司さん(万年 農業 六十七歳)

小林地区十年の変革

自分史の「ページ」

昭和も終わり、私も長年勤めた嘱託員などの役職を、福祉関係を除いて退任しました。思えば十年余りの長い間、地区の皆さんや市当局の温かいご協力をいただき、大過なくこれたことを心からお礼申し上げます。

各種の施設や整備など、地域の切実な要望を実現できたことは、苦難と喜びの自分史の一ページでもありました。特に任期後半には、懸案となっていた要請の実施が、一挙に集中し、まさに八面六臂、東奔西走の連日でした。

地域生活センターの建設、旧小林、戸頭両小学校の統合、新生小林小学校の開校、通学路の整備、プールの新設など。さらに立派な相撲場の開設は新しいアイデアとして好評で、今も有効に利用されています。新設校としての基礎作りには汗を流してお手伝いしたのも昨日のことのようです。



夏の夜の火花は子どもたちの楽しみ



半間伊作さん(古川団地・無職・七十七歳)

心の豊かさを取り戻し

仏に感謝しながら生きたい

アメリカに住む日本の歌手が帰国のため成田空港に着いたのがテレビに映された。子どもがいたはずなのに、おんぶもだっこもしていない。よく見たら、かごに入れて手にぶら下げている。

アメリカ流のやり方だと思っていれば、我が町のデパートでも同じ風景が見られた。猫や犬の子と同じである。世の中に金と物があふれ、飽食の渦に巻き込まれているから、人のぬくもりを忘れ、愛の酸欠状態が広がっている姿である。昨今盛んに論じられている暴走族や家庭内暴力など、まんざら無関係とは言えない気がした。

勉強ができなくても、親の言うことをよく聞く子もいる。なんにもできなくても、仏様にお参りする心の優しい子もいる。教育ママでなくても、先祖様や親をたいせつにするお母さんもいる。子どもは親の背中を見て教えられる、育っていく。

仏の心は「知恵」と「慈悲」である。仏前にご灯明(知恵)とお花(慈悲)を供え、お参りする母子の姿は実に美しい。我々は毎日の生活の中で、ややもすれば忘れがちな仏心に立ち返り、心の豊かさを取り戻し、仏に感謝しながら生活しようではないか。

一方、長年の悲願だった保育園もようやく六十年目に設立。約束の「定員確保」に全力投球し、その一つの対策として福祉通園バスも関係者のご協力で行っていただきました。園児数も年ごとに増えて一〇〇%にも達し、この六月議会では増築の計画と予算案が承認されました。

和泉地区には農工団地が導入され、近くに文京地区も設定されたのに伴い、人口も飛躍的に増加しました。さらに市道やほ

市民文芸

俳句

- 置替へ更衣して忌を修す 山田 孝
 - 振って見て音確か心種袋 成沢 素明
 - 雨あどの山近々と鐘樓 内山 京子
 - 矢車の回りまわりて夜に入りぬ 五十嵐寛吾
 - 新緑のジョギングコース決まりけり 小林 光子
 - 花冷えと一行のみの日記閉づ 和泉 伸子
 - 寺の鐘鳴り杉花粉とと散る 公条 雪夫
 - 懐かしき盆待つ心思の人 波辺 勤
 - 乳母車麦刈る嫁に乳頼む 玉木 長吉
- ## 川柳
- 主義主張通す男の厚い胸 吉川 彰
 - 夢ばかり見せて冷たい宝クジ 米野 光雄
 - 全能の神から貰う知恵袋 今井 七郎
 - 肉親の危篤が続く静と騒 織田 セツ

短歌

- 煩惱の陰が断てない川つ縁 竹石 甚五
 - 異国まで嫁を貰いにゆく息子 後藤マサノ
 - 年金を貰うと孫が寄ってくる 佐藤トミノ
 - 遊んでるよう疲れれる孫の守り 佐藤 ヨキ
 - 人を呑む波を隠して海が呼ぶ 高橋祐四雄
 - 指先が鉤と遊ぶ長電話 田中 成子
 - 一皿の情けが温いおすそ分け 田村 恒夫
 - 家計簿のけじめ電卓頭を出す 中村 尚治
 - 陽炎に飾り鉤が揺れている 西条 ムラ
 - 青春は七ツ鉤にある驕り 早川 英男
 - 二人分貰い臨月席につく 山岡 フミ
- ## 短歌
- 寄せて来る波の砕けて白く散る 中村 京
 - 渚を低くかめ飛び去り 今なほのこる岩室の松 小出熊四郎
 - 退院に八十二歳のお婆さん 小出よし
 - 名残惜しきと涙して行く 富所 蘭子
 - 旅立ちに何をか持たさん数珠の手に 辻が花の香り姉を置いて